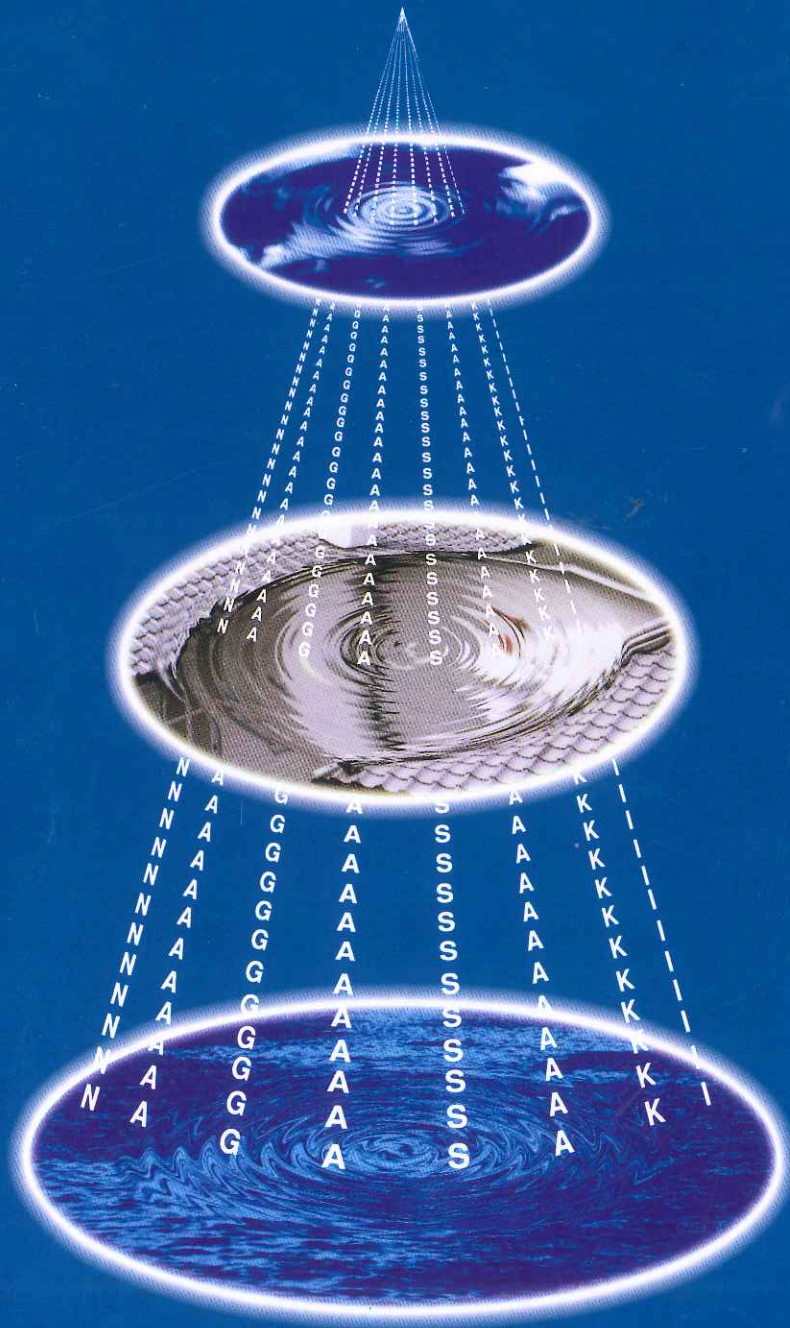


'93 Competition of Urban View Plans of Nagasaki City



あしたの街は私がつくる

'93長崎市都市景観賞
作品集



1993長崎市都市景観賞

ごあいさつ



長崎市都市景観賞表彰実行委員会委員長
本島 等

私たちを取り巻く環境は、近年の社会情勢の変化により、人間性を尊重した快適な環境づくりを行うことが望まれるようになってきました。

現在、まちづくりにおいて、歴史的、地理的背景など、各地域に根ざした個性が要求されています。

長崎は港町として栄えた海外文化、坂のまちならではの生活様式、原爆被爆後の平和を祈念する市民性など、他都市にはない独自の個性を、長い時の流れのなかで培ってきました。長崎のまちはこのような個性を生かしながら、住む人にとっても、訪れる人にとっても、魅力ある、優しいまちとなることが望ましいことと考えます。

その一環として、長崎市都市景観賞は、昭和62年度に長崎市と長崎商工会議所、長崎商工会議所青年部が中心となり、民間の諸団体の協力を得て創設されましたが、今回で5回目を迎えることとなり、市民の皆様にも浸透してきたことと思います。この賞が、今後とも回を重ねるごとに、市民と行政が質の高いよりよいまちづくりを行うことに、励みとなるような素晴らしい賞として育っていくことを望んでやみません。

今回の賞を受賞された方々には心からお祝い申し上げますと共に、賞の応募に際し推薦をいただいた多数の市民の皆様、並びに選考にあたりご尽力くださった選考委員の皆様方に対し深く感謝申し上げます。



長崎商工会議所会頭
松田 肇一

この度1993年長崎市都市景観賞を受賞されました関係者の皆様に心よりお祝いを申し上げます。

さて、本市景観行政前進への契機となった本賞は昭和62年から紆余曲折を経ながら、ここに5回目の表彰式を迎えました。

ある調査では全国においても、昨年は景観条例制定件数が30件余りを数え、過去最多になっているなど、景観整備は乱開発が鎮静化したポストバブル時代における魅力ある街づくりの方策としてひとつの潮流となっております。

しかし、一方では多様な価値観を持つ個衆の時代を迎えつつある中、景観整備は非常に難しい課題でもあります。

景観整備を通じ地域住民の意識を高め、住民が愛着を持てるような街づくりが実現することを切望するものであり、本賞もメンタルな部分においてその期待を背負っています。

コンベンション都市を標榜する長崎市においては、社会環境、経済状況が激変している今こそ、公共がさらなるリーダーシップを発揮し、魅力ある街づくりへ民間をリードして頂くとともに、本事業が市民の景観に対する意識を高め、地域の新たな発展に寄与することを願う次第でございます。

最後に、本事業実施にあたり、ご協力をいただきました関係各位に対し御礼申し上げますとともに、今後ともなお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶いたします。

自然環境を生かし、歴史的な文化遺産を継承しながら、人間のふれあいのある都市、洗練された街づくりに寄与する作品に対して贈られる賞です。



これまでの5回の選考に参加して

長崎市都市景観賞
選考委員会座長
石野 治

1993年長崎市都市景観賞の選考を終え、受賞作品が決定されましたが、この賞が発足して以来、今回第5回を終了したことになります。この節目とも言える5回の選考を終って、その成果を振り返り、選考を通しての感想などを記してみたいと思います。

まず、これまでの5回にわたる選考対象件数ならびに受賞作品数及びその内訳としての民間と公共、建築物とその他についての一覧表を作成してみました。

ここで日につくことは、第3回に対象が民間に限定されたこと、そして第4回以降、受賞件数について民高公低を原則としながらも、公共を選考対象として復活させたことであります。しかし、例えば今回の受賞作品においても明確な民高公低の結果を出し得なかった原因或いは問題点は那邊にあるのか。

本景観賞も既に5回の実績を重ねた現在、本賞の基本的性格付けと、長崎の都市景観に与える先進的役割、更に毎年開催となった第4回からは隔年開催の第3回までに比べて選考対象件数が減少していることなどを勘案して、表彰実行委員会において最も妥当と思われる結論をお願いしたいと考えております。また第3回から都市景観賞に新しく奨励賞が設けられたことによって受賞対象の都市景観への貢献に対する評価に幅と厚みを持たせて選考することが可能になったことは特筆に値すると考えます。長崎の都市景観を考える場合、所謂長崎らしさとして、西洋風様式なるものに安易に短絡させたデザインについては、選考過程において、かなり厳しい評価が必要だとの見解が定着しつつあることは、長崎の景観を混乱させないためにも正当な選考理念であると考えております。また、都市景観形成上大きなインパクトを持つ規模の大きな建築物についても、比較的インパクトの小さい小規模建築に比べて、より高い質を要求し、慎重な検討を経て厳正に評価されるべきだとの考えを持っております。それは大規模な建築物は小規模建築物より都市景観に対し、遥かに大きな責任を負わなければならないからであります。

以上5回の選考委員会に座長として参加した感想を述べさせていただきましたが、長崎市都市景観賞が、広範な市民の関心と理解とに支えられ、今後一層発展されますことを心より祈念申し上げる次第であります。

選考委員会

座長
石野 治
長崎総合科学大学学長 (建築)

委員
井川 惺亮
長崎大学教育学部教授 (美術：洋画)

岡林隆敏
長崎大学工学部助教授 (土木工学)

片寄俊秀
長崎総合科学大学教授 (建築家、技術士)

川村清一
長崎青年会議所前理事長 (経済界)

津田桂子
わらべ文庫主宰 (文学)

鳥居丈平
元長崎商工会議所青年部 (主催者)

中村照美
中村照美法律事務所 (弁護士)

橋本敏春
長崎市助役 (主催者)

林田米松
長崎県グリーン事業協同組合理事長 (造園)

平方博憲
長崎商工会議所議員 (主催者)

福丸秀一郎
商業デザイナー (美術：デザイン)

ブライアン・パークガフ
長崎市文化国際課嘱託

松岡政春
写真家 (美術：写真)

宮川密義
長崎新聞社論議委員 (マスコミ)

(50音順)

選考対象件数	計	民間	公共	建築物	その他	受賞作品数	計	民間	公共	建築物	その他
第1回(1988)	73	66	7	72	1	第1回(1988)	5	5	0	4	1
第2回(1990)	67	53	14	65	2	第2回(1990)	5	2	3	4	1
第3回(1991)	69	69	0	46	23	第3回(1991)	5	5	0	2	3
第4回(1992)	35	29	6	27	8	第4回(1992)	4	2	2	2	2
第5回(1993)	37	28	9	29	8	第5回(1993)	4	2	2	2	2
合計	281	245	36	239	42	合計	23	16	7	14	9



第5回
長崎市都市景観賞
1993



金子建設株式会社本社ビル

【選定理由】

金子建設本社ビルは、原爆祈念像公園に隣接した自社用事務所兼宿舍建物で、国道からの外観は、明るい色の煉瓦タイルと白いサッシや手摺等で、所謂洋風にとめられている。祈念像公園に面する建物の背面に、立体駐車場や高架水槽を組み込み、窓の少ない煉瓦タイルの壁面を生かすことにより、緑の多い公園からの眺望に寄与している。

所在地／長崎市松山町80番地外

用途／事務所・駐車場

階数／地上5階地下1階

構造／鉄筋コンクリート造

延面積／2,072.425㎡

高さ／20.139m

■建築主■

金子建設株式会社 代表取締役社長 川村清一

長崎市松山町9番18号

■設計者■

有限会社トラッドプランニング 代表取締役 寺崎敏彦

長崎市女の都4丁目22番4号

■施工者■

豊建設株式会社 代表取締役 筒井 孝

長崎市油木町35番2号



湊公園

【選定理由】

新地中華街に隣接した、この公園の再整備に当っては、その場所性を十分に配慮し、牌楼や休憩所、石庭と併、公園便所、ゴミステーションなどを中華風にしつらえることによって、周辺のまちなみに調和した憩いの空間として、市民に親しまれている。

所在地／長崎市新地町1500番地1他

延面積／約2,500㎡

■建築主■

長崎市長 本島 等

長崎市桜町2番22号

■設計者■

株式会社タナカ総合環境設計 代表取締役 田中省二

佐世保市塩浜町7番10号

■施工者■

兄弟緑地造園有限公司 代表取締役 渡辺忠道

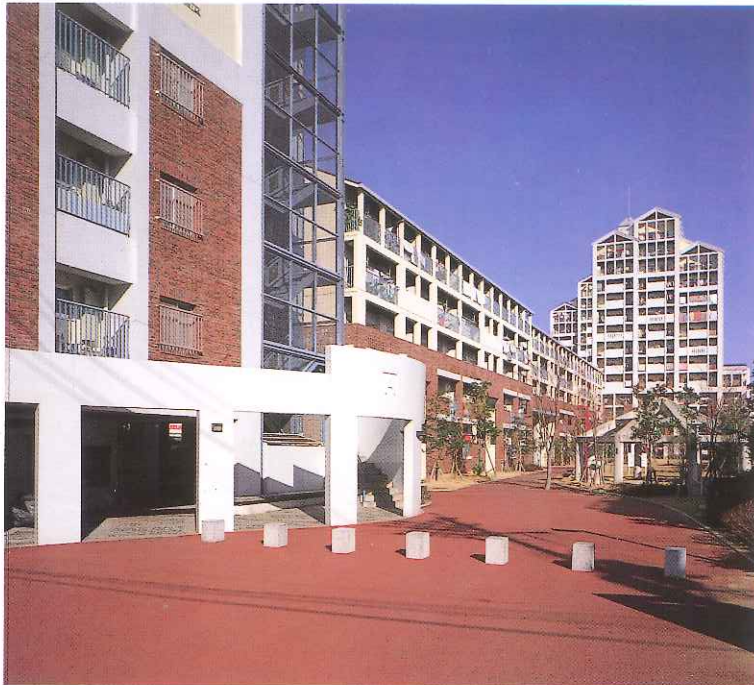
長崎市古賀町2151番地

株式会社上滝 代表取締役社長 上滝 満

長崎市新地町5番17号

橋本環境建設株式会社 代表取締役 橋本 寛

長崎市元船町14番10号



県営大橋団地・ 市営若葉団地

【選定理由】

1987年国際居住年に行われた、設計コンペの当選案によって実施された県営住宅団地と、隣接する市営団地を一体として計画したもので、高層と中層の組み合わせ、中層1階のコリドール、低層部外壁に積まれた煉瓦壁、オープンスペースの計画からディテールに至まで、質の高いデザインで、JRの車窓からの景観についても意識された、好ましいまちなみを形成している。

所在地／長崎市大橋町、若葉町
用途／公営住宅
階数／地上14階、地上5階
構造／鉄骨鉄筋コンクリート+鉄筋コンクリート造
延面積／14,769.2㎡
高さ／41.43m

■建築主■
長崎県知事 高田 勇
長崎市江戸町2番13号
長崎市長 本島 等
長崎市桜町2番22号
■設計者■
大草建築デザイン室 所長 大草一俊
長崎市樺島町9番11号セントラルハイツ大島屋605
尾崎泰建築設計事務所 代表者 尾崎 泰
長崎市御船渡町3番3号サンサンビル3F
株式会社小西忠徳設計事務所 代表取締役 小西忠徳
長崎市興善町5番1号丸善ハイネスコーポ2F
■施工者■
■建築■
株式会社栗原建設 代表取締役 栗原宏明
長崎市馬町38番1号
株式会社上滝 代表取締役社長 上滝 満
長崎市新地町5番17号
大周建設株式会社 代表取締役 平澤知二良
長崎市上町4番37号
株式会社玉木建設 代表取締役 玉木 悟
長崎市樺の木町8番11号
株式会社鉄川工務店 代表取締役 宅島章三
長崎市扇町12番7号
増田建設工業株式会社 代表取締役 湊満寿夫
長崎市元船町1番9号

山口総合建設有限公司 代表取締役 山口幸雄
長崎市岩見町517番地2
豊建設株式会社 代表取締役 筒井 孝
長崎市油木町35番2号
■電気■
株式会社今村電気商会 代表取締役社長 今村 巖
長崎市魚の町2番14号
有限会社浦上電機商会 代表取締役 田坂宇久
長崎市川口町2番12号
崎陽電気株式会社 代表取締役 猿渡正義
長崎市上町4番3号
協和電機工業株式会社 代表取締役社長 坂井俊之
長崎市川口町10番2号
有限会社三工電機 代表取締役 小林豊一
長崎市大橋町5番24号
株式会社寺田電気商会 代表取締役 寺田浩一
長崎市城山町24番6号
株式会社西九州電設機器 代表取締役 林 隆久
長崎市江里町1番4号
有限会社花丘電機 代表取締役 平田隆繁
長崎市花丘町7番24号
合資会社福岡電機設備工業所 無限責任社員 福田勝彦
長崎市新大町1番6号
■設備■
浦上住設工業有限公司 代表取締役 畑中秀人
長崎市三原町92番地25
奥野建設株式会社 代表取締役 古賀 享
長崎市城山町19番7号

有限会社カワシマ設備工業 代表取締役 川島正次郎
長崎市滑石3丁目47番9号
株式会社崎陽 代表取締役社長 野口俊治
長崎市西山町4丁目474番地6
古賀工業株式会社 代表取締役 古賀正徳
長崎市松山町4番35号
有限会社鶴山設備工業 代表取締役 鶴山覚一
長崎市白島町9番8号
滑石設備株式会社 代表取締役 中間信美
長崎市滑石2丁目5番13号
松本設備工業株式会社 代表取締役 松本光雄
長崎市城山町27番4号
ヤナカワ工業株式会社 代表取締役 城戸力好
長崎市金堀町54番6号
■植栽■
有限会社カネマツ緑化建設 代表取締役 野村和夫
長崎市出島町10番15号
共栄園緑化有限公司 代表取締役 松田正美
長崎市松原町2084番地
土橋緑化建設株式会社 代表取締役 土橋康二
長崎市松山町4番44号中村ビル2F
橋本環境建設株式会社 代表取締役 橋本 寛
長崎市元船町14番10号
■駐車場■
豊建設株式会社 代表取締役 筒井 孝
長崎市油木町35番2号
株式会社栗原建設 代表取締役 栗原徳徳・清水明信
長崎市花園町3番13号



復元唐船『飛帆』

【選定理由】

長崎港に帆船を浮かべたいと結成された市民団体会員の会費と募金により、「飛帆」は、中国本土の造船所で、伝統的な手法により建造された。長崎港に回航され早4年余が過ぎた現在、港の景観に違和感なく溶け込み、鎖国時代の長崎港を彷彿とさせる。

延吨数／104 t
幅／8 m
総延長／31 m
マスト高／26 m

■建造主■

社団法人長崎歴史帆船協会 理事長 立野 誠
長崎市尾上町20番地

■建造所■

福建省船舶工業公司漁輪修造廠 廠長 林 壽清
福建省福州市臺江區排尾路223號



表彰作品位置図





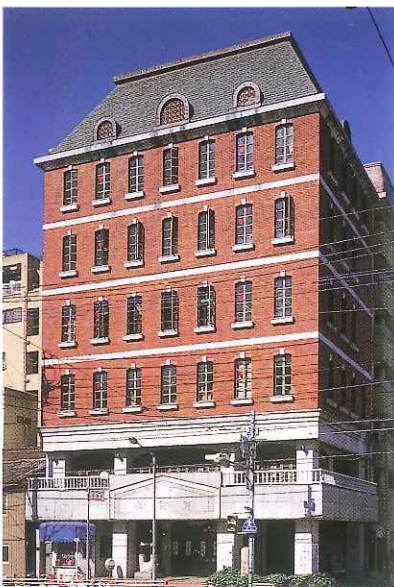
活水女子大学・短期大学 音楽館・2号館
所在地／長崎市東山手町



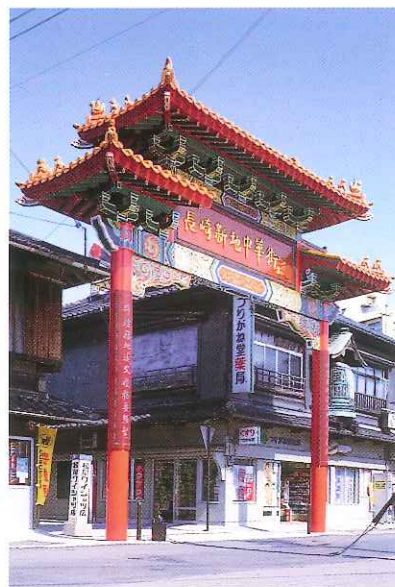
カロムビル
所在地／長崎市浜町



フォーレ三原台
所在地／長崎市三原町



松翁軒 所在地／長崎市魚の町



中華門 所在地／長崎市新地町



活水学院楠光寮
所在地/長崎市小ヶ倉2丁目

小ヶ倉公営住宅
所在地/長崎市古道町



シーボルト記念館
所在地/長崎市鳴滝2丁目

蛭茶屋から新大工までの
電車通り・電気軌道中央柱
所在地/一般国道34号日見バイパス建設事業
(馬町～蛭茶屋)



山里小学校
所在地/長崎市橋口町



川口鱧甲店
所在地/長崎市浜町



シーボルト通り
所在地/長崎市新大工町



泉写真館
所在地/長崎市川口町



長崎プリンスホテルポケットパーク
所在地/長崎市宝町



月光スタジオ看板(南蛮ボード)
所在地/長崎市桜馬場1丁目



海星修道院
海星学園図書館
所在地／長崎市東山手町



矢上小学校現川分校
所在地／長崎市現川町



小ヶ倉水園
所在地／長崎市上戸町(小ヶ倉浄水場内)



坂本龍馬之像(銅像)
所在地／長崎市伊良林3丁目(鳳頭公園内)

実行委員会

委員長

本島 等

(長崎市長)

委員

松田 皓一

(長崎商工会議所会頭)

高比良昇

(長崎商工会議所専務理事)

林田 武

(長崎商工会議所建設部会長)

岡部 道夫

(長崎商工会議所青年部会長)

藤田 憲

(長崎市都市計画部長)

工藤 儀孝

(長崎市都市開発部長)

有馬 利善

(長崎県建築士事務所協会長崎支部支部長)

出田 英樹

(社団法人長崎県建設業協会長崎中央支部支部長)

江部 努

(日本電信電話株式会社長崎支店支店長)

大石 成一

(九州電力株式会社長崎支店支店長)

扇 道徳

(社団法人長崎県測量設計業協会会長)

平三 樹男

(長崎市管工業協同組合理事長)

徳住 一郎

(長崎県電気工事業工業組合長崎支部支部長)

永田 朝治

(社団法人長崎県建築士会長崎支部支部長)

中村 諭

(社団法人長崎県建設業協会長崎支部支部長)

野村 和夫

(長崎市造園建設業協力量会長)

山崎 修司

(西部瓦斯株式会社長崎支店支店長)

山田 荒喜

(長崎県土地開発設計協会会長)

監事

佐々木 泰昭

(長崎商工会議所事務局長兼企画調査部長)

藏 治義和

(長崎市都市計画部都市計画課長)

(50音順)

主催

長崎市

長崎商工会議所

長崎商工会議所青年部

協賛

九州電力株式会社長崎支店

長崎県測量設計業協会

日本電信電話株式会社長崎支店

長崎市管工業協同組合

長崎県電気工事業工業組合長崎支部

長崎県建築士会長崎支部

長崎県建設業協会長崎支部

長崎市造園建設業協力量

長崎県建設業協会長崎中央支部

西部瓦斯株式会社長崎支店

長崎県土地開発設計協会

長崎県建築士事務所協会長崎支部

後援

NHK長崎放送局

株式会社エフエム長崎

株式会社テレビ長崎

株式会社長崎国際テレビ

株式会社長崎新聞社

長崎文化放送株式会社

長崎放送株式会社



長崎市都市景観賞表彰実行委員会